

年頭のごあいさつ

東京都種類協同組合
東京圏種類生活衛生同業組合

理事長

田中 秀樹



新春のお慶びを申し上げます。組合員並びに関係各位の皆様におかれましては、お元気で新年をお迎えのことと存じます。

平素は、組合の諸事業に対して、ご理解とご協力を賜り、役員一同心より厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、業界のみならず、日本の社会経済全体に大きな影響をもたらしました。感染状況は未だに一進一退の状況にあります。組合員の皆様

におかれましても、大変ご苦労の多い1年であったこととご察いたします。本年も引き続き

「外食業の事業継続のためのガイドライン」を遵守し、感染防止対策を徹底して実施した上で、営業の継続をお願いいたします。

昨年は、多くの事業が中止や余儀なくされました。そうした中においても、東京都中小企業団体中央会の特別支援事業「チャンスをつかもう2020プロジェクト」による「東京二八蕎麦」ブランド化など、組合員の

皆様のご協力により、事業を推進することができました。

業界テーマは引き続き「めんば元氣な健康食」です。このような時世だからこそ、より一層安全・安心に配慮し、消費者の健康に貢献する

ことが業界への信頼に結びつくことを確信します。

本年の主な行事としては、「第58回2021種産業展」の開催、「第87回全国種類飲食業者茨城大会」への参加等、週年の行事も含め、組合員各位のご理解とご協力のもと、各種事業を積極的に推進いたします。また、「東京二八蕎麦」の一層のPRに引き続き取り組みます。

また、機動的・抜本的な経済対策をはじめとして、各種税制や事業承継の措置など、業界に関わる諸課題については、引き続き関係機関と連携しながら取り組んでまいります。

本年も組合員各位の一層の繁栄に向け、「組合員の視点に立つ」組合運営を心がけ、組合員のための組合づくりを目指して役員一同努力してまいりますので、何卒、組合員の皆様のご高配とご支援を重ねてお願い申し上げます。

新しい年が皆様をはじめご家族の方にとりましても、より一層良い年でありますよう、祈念申し上げます。新型コロナウイルス感染症の早期収束と、景気・経済回復を強く願ひ、年頭のごあいさつといたします。

